

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[関連情報](#)

概要

Options タブ available がないときこの資料に Outlook で Cisco E メール セキュリティ プラグインのための診断レポートを生成する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- E メール セキュリティ プラグイン
- Microsoft Outlook
- Windows ファイル システム

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は E メール セキュリティ プラグインバージョン 7.5.1 に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

場合によっては「暗号化 メッセージ」ボタンは Outlook で現われないし、診断レポートを選択し、生成するプラグイン Options タブがありません。

設定

プログラム ファイルから診察道具を実行すること。プログラム ファイルから診察道具を実行す

る 2 つの方法があります。レポートを生成するために 2 の 1 を選択して下さい。

1. Start > Programs > Cisco E メール セキュリティ プラグイン > Cisco E メール セキュリティ プラグイン 診断から 診察道具 を実行して下さい。
2. Cisco E メール セキュリティ プラグイン がインストールされたフォルダに (一般的に C:\Program Files\Cisco\Cisco IronPort E メール セキュリティ プラグイン) 行き、Cisco.EmailSecurity.Framework.Diagnostic.exe ファイルをダブルクリックして下さい。

診察道具は CiscoDiagnosticReport.zip ファイルを生成し、現在のユーザにそれを保存しますか。s 文書 フォルダ。エンドユーザはシステム アドミニストレータにそれからファイルを送信できますまたは管理者は Cisco サポート 技術員にそれを送信できます。レポートを表示するために、CiscoDiagnosticsReport.zip ファイルをダブルクリックして下さい。

関連情報

- [Cisco 電子メール暗号化 エンドユーザ ガイド](#)